



2022年4月12日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン
 代表者名 代表取締役社長 藤原 祐介
 (コード：7445 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役管理本部長 大友 博雄
 (TEL：029-858-0321)

2022年8月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、
 並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2021年10月12日に公表しました2022年8月期第2四半期累計期間(2021年9月1日~2022年2月28日)の連結業績予想値と実績値に差異が発生いたしました。あわせて、2022年8月期通期(2021年9月1日~2022年8月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年8月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2021年9月1日~2022年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年10月12日公表)	27,000	650	600	250	8円64銭
今回修正予想(B)	25,244	480	437	35	1円22銭
増減額(B-A)	△1,755	△169	△162	△214	
増減率(%)	△6.5	△26.0	△27.0	△85.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年8月期 第2四半期)	27,277	572	622	△395	△14円33銭

2. 2022年8月期通期連結業績予想の修正(2021年9月1日~2022年8月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2021年10月12日公表)	52,000	800	700	200	6円83銭
今回修正予想(B)	50,500	650	500	50	1円71銭
増減額(B-A)	△1,500	△150	△200	△150	
増減率(%)	△2.9	△18.8	△28.6	△75.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	49,605	49	87	△2,070	△75円08銭

3. 第2四半期連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正の理由

当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響は継続するものの、個人消費は徐々に回復に向かうと想定し、期初計画におきましては、既存店売上高前年比 100.5%を見込んでおりました。しかしながら、気温が高く推移したため秋物の販売が低調に終わったことや、新型コロナウイルスの爆発的な感染再拡大の影響もあり、既存店売上高前年比は94.5%、全社売上高は計画比6.5%減（前年比7.5%減）の25,244百万円となりました。

利益面につきましては、広告宣伝費及び人件費の効率的な運用、その他販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、売上高の減少及び値下げロスの増加により営業利益、経常利益ともに計画を下回りました。また、収益性の厳しい店舗の減損損失を特別損失に計上したことなどにより最終損益も計画を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、3月21日にまん延防止等重点措置が全面解除となり、また、ワクチン接種の効果も期待できることから、個人消費は徐々に回復に向かうと想定し、下期の売上高は期初計画どおりの25,255百万円（期初計画との差異255百万円は退店予定を取りやめた店舗の売上高）を見込んでおります。

利益計画につきましては、原材料費及び輸送費の高騰や為替相場などの影響により商品仕入れコストが上昇し利益率が悪化することが予想されるため、計画を見直しております。

4. 特別損失の計上

当社は、2022年8月期第2四半期連結会計期間（2021年12月1日～2022年2月28日）において、閉店を決定した店舗及び収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失363百万円を計上いたしました。また、新型コロナウイルス感染拡大に関連し、大型商業施設などの時短営業中の固定賃料、人件費等を新型コロナウイルス感染症による損失として19百万円を計上したこと等により、当四半期連結会計期間で計上した特別損失は合計で401百万円となりました。

以 上